

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CDK			
○保護者評価実施期間	2025年10月24日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年10月24日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外国籍の利用者は言葉の壁があるので、学習支援に対して、ポルトガル語で説明するなど一人一人に合った支援をしている Os usuários estrangeiros têm barreiras linguísticas, portanto, o suporte ao aprendizado é adaptado a cada indivíduo, por exemplo, as explicações são dadas em português.	専門的な内容でプログラムを実施し、曜日ごとに担当が変わるので、多様なプログラムを週の間に受けることができる。 Os programas são especializados em conteúdo e as responsabilidades mudam a cada dia da semana, de modo que um programa diversificado pode ser recebido durante a semana.	保護者への相談援助を行う際、保護者のニーズに合った助言や支援の提示をしていく。Ao prestar assistência consultiva aos pais, apresente orientação e suporte adequados às necessidades deles.
2	家庭や学校での諸問題など、保護者の思いに寄り添い、相談に乗っている。A empresa oferece orientação aos pais sobre várias questões em casa e na escola, bem como sobre seus pensamentos e sentimentos.	外国籍の方が、新規で事業所を利用する際、行政面での手続きの仕方など、保護者に対して寄り添った支援をしている。 学校での悩みなども家族支援を通して、助言をしている。Quando os estrangeiros usam novos estabelecimentos, eles dão suporte aos seus pais nos procedimentos administrativos. Eles também aconselham sobre problemas escolares por meio de apoio familiar.	定期的に保護者会を実施し、保護者間で語り合う場を設けることで、保護者のニーズに適宜対応していく。Serão realizadas reuniões regulares entre pais e professores para proporcionar um fórum de discussão entre os pais e atender às suas necessidades, conforme apropriado.
3	周辺に自然散策路や公園などがあり、どんぐりや落ち葉を集めて作品作りするなど自然を生かした活動ができる。 A área circundante possui trilhas naturais e parques, permitindo atividades que aproveitam a natureza, como coletar bolotas e folhas caídas para criar obras de arte.	庭での花の栽培、落ち葉などを使った作品作りなど、四季を感じる活動を実施。Atividades que permitem vivenciar as mudanças das estações, como cultivar flores no jardim e criar obras usando folhas caídas.	夏野菜、春野菜と定期的に栽培活動にも取り組んでいきたい。Gostaríamos de nos envolver em atividades regulares de cultivo de vegetais de verão e vegetais de primavera.

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内での集団活動において、活動できる内容が制限される。No local de trabalho, a variedade de atividades em grupo que podem ser realizadas é limitada.	戸建ての施設のため、10人以上が運動するスペースを確保できない。Por se tratar de um edifício independente, não há espaço suficiente para acomodar mais de dez pessoas a praticar exercício físico.	運動会やお祭りなどイベントでは、他施設を借りるなど場の提供に努めている。Para eventos como dias de esportes e festivais, nos esforçamos para fornecer locais alugando instalações de outras organizações.
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 CDK

公表日 2026 年 1 月 16 日

利用児童数 15

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				複数の部屋がある。	法令を遵守してスペースを確保しています。引き続き、契約時に文書を用いて説明を行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12				ブラジル人と日本人が働いている。	法令で必要とされる配置数に加え、職員を1名以上配置しています。引き続き、契約時に文書を用いて説明を行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11		1			建築の構造上不十分ですが、屋内の段差はありません。階段には滑り止め防止などの安全対策をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					利用児童、保護者様が安心して利用いただけるよう療育内の整理整頓、清掃・消毒など時間帯毎に行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1			良い職員がいます。	社内共通のアセスメントシートを使用して、アセスメントをもとに担当職員で話し合い、支援計画を作成しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					個別支援計画をもとに一人ひとりの特性を踏まえた支援プログラムを立案し、支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					保護者様のご要望を取り入れ、集団支援・個別支援担当職員と話し合いを行い作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			2		移行支援については小学校から中学校、中学から、高校への進路の際、学校と情報共有するなど連携を図っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					個別支援計画に沿って支援を実施しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11		1			認知面、言語活動、体幹運動から季節に合わせた工作活動など5領域に即した、プログラムを実施しています。
保護者 への 説明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1				地域交流の一環として、児童館などへ行き他の児童と交流できる機会を作っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					新規・更新の際に計画の説明を行っています。同意を得てから、支援開始をしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12					保護者参加型のイベントを開催し、情報収集・共有できる交流の場を設けています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12					送迎時や支援後に保護者へ支援中の様子を伝えたり、SNSで報告をするなどして共通理解に努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1				対面での面談やSNSなどを使い、相談内容に合わせて必要な助言と支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					支援の様子をSNSなどで細やかにお伝えしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1				保護者会を定期的に開催し、保護者同士の交流や情報収集の場を設けています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			2		家族の申し入れに対して、心理担当職員など適時、家族支援をしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					個別のSNSで速やかに情報共有をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					個人情報は鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12					マニュアルを作成し訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			2		安全計画を策定し、事業所内に掲示していますが、周知を図るよう、年度初めに各家庭に計画書を配布します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				温かく見守ってくれているので、本人が安心できている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12				初めは緊張していたが、来所を楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				自身の子どもの成長を感じています。 R: 言語が必要。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		CDK		公表日		
				2026 年 1 月 16 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者の発達段階に応じて、使用する部屋を決めている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	どこに何が置いてあるか絵カードなど目で見分けるようにしている。	戸建て住宅であるため、車いすを使用する身障者への対策はできていない。階段には手すりがあり、床に滑り止めのシートを貼っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		年齢や体格に合わせて机・いすを整備し、支援前後に清掃。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		本人の気持ちの切り替えとして、必要に応じて別室で対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		週1回の会議において、現状把握や課題の抽出、業務の見直しを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議や業務継続訓練の際に、意見交換を行い業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	関係機関や保護者の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けている。	法人で第三者評価を行っていないが、今後検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修を年6回以上。法人研修を年6回以上実施。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		毎年アセスメントの更新をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議で、支援の手立てについて検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		会議の折に、支援内容について検討、共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントシートを使用して、アセスメントをもとに担当職員で話し合い、支援計画を作成している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		移行支援については小学校から中学校、中学校から、高校への進路の際、学校と情報共有するなど連携を図っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		会議の折に、支援内容について検討、共有している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		認知面、言語活動、体幹運動から季節に合わせた工作活動など5領域に即した、プログラムを実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援のねらいや活動内容を周知している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後は送迎があるため、昼に振り返りをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		複数の支援プログラムを作成し、実施。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		年齢やお子さんの特性、目標に応じて、お子さんに寄り添った支援内容を実施。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		お子さんと関係のある保健士さんや保育士さんとは情報共有をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の月予定で連絡調整を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		該当者はいませんが、保護者のご要望に合わせて、情報提供していく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		事業所でのイベントを実施の際、参加を呼び掛けたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		年1回の事業所の連絡会には参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後に、支援内容の報告を行ったり、SNSで様子を報告したりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会を定期的に開催し、保護者同士の交流や情報収集の場を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		お子さんの夢や家族の意向を聞き取り、反映している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		困りごとや悩み事など心理担当職員を中心に家族支援している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を定期的に開催し、保護者同士の交流や情報収集の場を設けている。 兄弟が参加した運動会を11月に開催。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Messengerでイベント情報や避難訓練の様子などを発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のついた書庫に保管。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		活動の流れや指示に対して、動作カードなどを提示している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		事業所でのイベントを実施の際、参加を呼び掛けたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続のための訓練は、机上でシミュレーションを実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に健康状態などについて伺い、対応方法などの確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に沿って、郊外での交通安全指導や緊急時の対応訓練をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		各職員がヒヤリハットを適宜作成し、予防のための情報共有を図っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回以上事業所内研修を実施。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		緊急やむ負えない場合の原則を、保護者に説明し、必要に迫られた場合記録をとる。	